

# 蚕の神様

## ～ 蚕霊神社と秀興山正林寺～

### ■ 蚕霊神社(豊田市日面町)

「こだまさん」として小原地区全域、さらには地区を越えて多くの人に親しまれている蚕霊神社は標高434.2mの蚕霊山山頂にある。小原地区で養蚕が盛んになった明治24年(1891)に、蚕業の隆盛を祈願



蚕霊神社

するため、伊勢神宮外宮の豊受大神の御分霊大気都比売大神を祀って「蚕霊教会所」とした。養蚕業が盛んだった時代は、春・秋の例大祭に、養蚕業にかかわる人たちの講社や、加茂蚕糸の「蚕栄会」などの組織が参列して、山里には珍しい人出で賑わった。

### ■ 秀興山正林寺(豊田市広幡町)

豊田市広幡町にある秀興山正林寺は常陸国(現在の茨城県)真言宗蚕霊山星福寺の蚕霊尊の分身を祀っている。明治25年(1892)、正林寺住職が「東海道筋ではどこへも分身をしない」との証文を入れ、金35円でお受けした。10人から20人の講で1万人を目標に講を募集し、明治27年4月10日に第1回の蚕例祭を行った。各講に配布された絵図には、海を渡って日本に来た、蚕霊尊、足下には桑の葉が敷かれている。



正林寺の蚕霊尊掛軸  
豊田市近代の産業とくらし発見館蔵



正林寺本堂



蚕霊尊天 木造  
正林寺蔵